

2018年4月20日

財務大臣 麻生太郎 殿

## 福田事務次官のセクシャルハラスメントに関する申し入れ

野党国会議員有志一同

野党6党（立憲民主党、希望の党、民進党、共産党、自由党、社民党）は、国会審議や「財務省セクハラ問題野党合同ヒアリング」の場において、福田事務次官のセクハラ問題と財務省が行った調査について問題点を再々に渡り指摘してきた。

しかし、福田事務次官の辞任が報じられるなか、事務次官はいまだにセクハラを認めず、謝罪もせず、財務省は麻生大臣を先頭に事務次官をかばい続けている。

さらに、安倍総理も事前に今回の財務省の対応方針の報告を受け容認している。この現状は、安倍政権ぐるみのセクハラと言わざるを得ない。

セクハラ被害者の人権侵害を容認・放置する安倍総理、麻生大臣、財務省の姿勢は、国民にとっても許されるものではなく、ここに野党国会議員の有志が集まり、財務省に対して次の点を強く申し入れる。

- ① 財務省は、今回のセクシャルハラスメント被害者の人権を守ること。
- ② 財務省は、セクハラ申し出があり、抗議する会社に不利益を与えないこと。
- ③ 福田事務次官は即刻、セクシャルハラスメントを認め、謝罪すること。
- ④ 財務省は即刻、事務次官がセクシャルハラスメントを起こしたことを認め、謝罪すること。
- ⑤ 財務省は、今回のセクシャルハラスメントを調査のやり方が不適切であったことを認め、調査を撤回すること。

以上